

# 特別活動の事例

**【考え・基礎知識】**

どのような行動をすると、自分が充実した時間を過ごすことができるのか考える。

**【つながり】**

みんなが嬉しい気持ちで過ごすためには、どのような時に、どのような行動をすればよいかを考え、互いの意見を取り入れながら自分の行動目標を決める。

**【広がり・応用】**

互いの行動を確認し合い、頑張り認め励ますことができる。学校生活以外でも、目標に向けて、自己実現できるようにする。

- ◇ 学年 第5学年
- ◇ 題材 「高学年として、充実した1年間にしよう！」  
学級活動(3)ア 現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成
- ◇ 目標
  - 5年生の学校生活についての学習や生活について正しく理解することができる。
  - 5年生の生活に向けて、自分ががんばろうと思うことを具体的に考えることができる。
  - 5年生でがんばる目標について、これからの生活に生かそうとしている。

主な学習活動	
事前の指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5年生の1年間で「楽しみなこと」や「がんばりたいこと」等のアンケート調査をする。</li> <li>・ 保護者向けにも「どんな高学年になってほしいのか」のアンケート調査をする。</li> <li>・ 6年生にインタビューをし、5年生の1年間でどんなことをするのか調べる。</li> </ul>
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5年生の学習や生活について調べたことを発表する。</li> <li>・ どんな高学年になりたいか話し合う。</li> <li>・ 話し合ったことを踏まえて、自分ができることとする。</li> </ul>
事後の指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「ふり返りカード」を使って、自分で決めた行動目標の実践、評価、振り返りを行い、交流する。</li> </ul>

【考え・基礎知識】から【つながり】に至る部分

◇ 本時の目標 どんな高学年になりたいか話し合い、話し合ったことを踏まえながら自分なりの目標を決める。

◇ 学習の流れ(1時間目/全1時間)

学習活動	指導上の留意事項(◇) (◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て)	評価規準〔観点〕 (評価方法)
1 課題意識を持つ。 計画委員が提案理由を説明する。	<p>〈提案理由〉 私たちも高学年になり、学校の中でも責任のある立場になってきました。縦割り班活動においては、最高学年である6年生のサポートをしたり、低学年をリードしたりしなくてはなりません。高学年として充実した1年間にするために、学級でどのようなことをがんばったらよいのか話し合い、それぞれ目標を決めたらよいと思います。</p>	
2 本時のめあてを確認する。 (1) 5年生になって楽しみなことのアンケート結果から気づいたことを話し合う。 (2) 保護者のアンケート結果から気づいたことを話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 夢や希望を持って、高学年としての1年間で過ごすという気持ちを持たせる。</li> <li>◇ どの親も高学年になった喜びとともに、自分たちに期待していることがわかるようにする。</li> </ul>	<p><b>5年生で楽しみなこと</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1位 野外活動</li> <li>2位 運動会や学習発表会での金管楽器演奏</li> <li>3位 クラブ活動</li> <li>4位 友達と仲良く遊ぶこと</li> </ol> <p><b>どんな高学年になってほしい</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 友達にやさしい高学年</li> <li>○ 低学年にやさしい高学年</li> <li>○ 家の手伝いを進んでする高学年</li> </ul>
めあて 充実した1年間にするために話し合い、自分の5年生の目標を決めよう。		
3 5年生の学習や生活について調べてきたことを発表する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 6年生に聞いたことをみんなに伝えたり、聞いたりする活動を通して、5年生の学習や生活についての見通しを持たせる。</li> </ul>	
4 どんな高学年になりたいか話し合う。 (1) 調べたことの発表や保護者アンケート、自分で考えたことをもとに、どんな高学年になりたいか話し合う。 (2) どのようなことをがんばったら、(1)で話し合った高学年になれるのか話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 親の願いなどが書かれたアンケート結果の表を参考にしたい自分について、具体的な姿を考えさせる。</li> <li>◇ 今後、どのような時に、どのような行動をするのかについて理由も含めて確認する。</li> </ul>	<p>昨年度の5年生の活動の写真を掲示することで、具体的にイメージさせることができる。</p>
5 本時のまとめをする。 ・ 話し合いで出された考え等を基に、自分の行動目標を考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 児童の考えた意見を「学習」や「生活」などわかりやすく板書することで、出た意見を参考にしながら選択させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 話し合いの中から、自分に合った目標を意思決定している。〔集団の一員としての思考・判断・実践〕</li> </ul>
児童のまとめの例 今の6年生が5年生の時、クラブ活動でやさしくボールの投げ方を教えてくれたことが心に残っています。ぼくもそのようなちがう学年の友達にもやさしい言葉をかけられるような高学年になりたいです。ぼくのこの1年間の目標は、1日1回は、ちがう学年の人に声をかけることです。		
6 本時を振り返り、今後の生活につなげる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 「ふり返りカード」を利用して、毎日帰りの会で、1日の自分の行動目標を確認するとともに、できたことについて記録する。1週間後、グループで交流したり、全体で発表したり、カードを掲示したりすることで、学級内で共有する。</li> </ul>	<p>(観察・振り返りカード)</p>

話し合ったことをもとに、一人一人に『意思決定』をさせる。

「広がり」を意識した発問  
学校生活だけでなく、家での生活で家族が嬉しい気持ちになるためには、どうしていけばいいだろう。」

年度末にはキャリアパスポート(仮)に記録し蓄積させる。